

# 小学校第5学年 国語

## 注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから10ページまであります。
- 3 答えは、すべてかい答用紙に書きましょう。
- 4 印刷がはつきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容に関する質問には答えられません。
- 5 かい答時間は、40分間です。すべての問題にチャレンジできるよう時間配分を考えながらといてください。
- 6 かい答用紙には、「組」、「番号」、「名前」を書く所と「学校名」、「組」、「番号」を書く所があります。まちがいのないように書きましょう。
- 7 かい答用紙には、「先生の記入欄」があります。みなさんは、そこには何も記入しないでください。

五年二組では、「アメリカから来たサラ先生をおむかえする会をしよう」を議題として学級会を行っています。次は、そのときの【学級会の様子】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

**司会①** 今日の議題は、「アメリカから来たサラ先生をおむかえする会をしよう」です。田中さんのてい案やお互たがいの意見をよく聞いて、進んで発言してください。では、てい案をお願いします。

**田中** はい。日本へ来たばかりのサラ先生に日本のよさを伝え、早くなかよくなるために、サラ先生をおむかえする会をしたいと思います。その会でしたいことを二つ、てい案しますので、意見を聞かせてください。一つ目は、歌を歌って、かんげいの気持ちを表したいと思います。二つ目は、フールツバスケットのゲームをすることで、楽しい交流にしたいと思います。

**司会②** それでは、まず、歌を歌ってかんげいの気持ちを表すことについて、みなさんはどう思いますか。

**北川** 私は、歌を歌うという田中さんのてい案に賛成さんです。私は、日本の伝とうの歌を歌うと、かんげいの気持ちが伝わると思うからです。

**太田** はい。私も、歌を歌うのは、楽しいふんいきになるのでいいと思います。歌は、英語の歌がいいと思います。

**永田** 二人とも歌を歌ってかんげいの気持ちを表そうという考えですね。ただ、太田さんは、北川さんとちがつて、**ア** という意見ですよね。その理由は何ですか。

（話し合いが続く）

**司会③** 歌について、たくさんの意見が出ているので、まとめてみましょう。てい案理由は「日本のよさを伝え、早くなかよくなるため」でしたね。どの意見がてい案理由に合っていると考えますか。

あなたの意見

イ

一 永田さんは、北川さんと太田さんの意見を聞いて、――線部のような質問をしました。アの中に入る  
ふさわしい内容を五字以上、七字以内で書きましよう。

二 司会③の発言で、司会の役割としてのよさを次の1から4までの中から二つ選び、番号を書きましよう。

- 1 みんなの意見をまとめようとしている。
- 2 相手の意見の内容を確かめている。
- 3 てい案理由に合う意見を出すよう呼びかけている。
- 4 話し合いの流れを伝えている。

三 あなたはイのところで、歌を歌うことについて意見を書きます。その内容を次のへじょうけんへに合わせて書きましよう。

へじょうけん〈 ・「てい案理由には、日本のよさを伝えるとあるので、」という書き出しの言葉を用いて、歌を歌うことについての意見を書くこと。

・書き出しの言葉に続けて、四十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数に入れる。

四 話し合いの結果、日本の歌を歌うことになりました。曲名の二つの□には同じ漢字が入ります。正しく書きましよう。

決まったこと

・日本の歌を歌う。：曲名 『夕□やけ 小□やけ』

五 サラ先生をおむかえする会では、次のような名札をつけます。名前の初めは大文字で、後は小文字で書きます。かつこの中に入る名前をローマ字で書きましよう。

( ) Tomoko

にった

ともこ

新田

ともこ

このページに、問題はありません。

山本さんのクラスでは、物語を読んで、登場人物についてしようかいし合う学習をしています。山本さんは、次の「つり橋わたれ」という物語の主人公トッコについてしようかいしています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

長崎 源之助  
「つり橋わたれ」による。



- 一 線部 1 「足がすくんで」の意味として、もっとも合うものを 1 から 4 から選び、番号を書きましょう。
- 1 やる気にあふれて力が入り、動き出しそうである。
  - 2 知らず知らずに引きよせられて、歩き出そうとしている。
  - 3 きょうふやきんちようのために、動けなくなる。
  - 4 いかりのあまり、その場でふるえている。

- 二 線部 2 「来る日も来る日も、トッコは一人で遊びました。」の主語と述語を、それぞれ番号で答えましょう。
- ① 来る日も来る日も、
  - ② トッコは
  - ③ 一人で
  - ④ 遊びました。

三 山本さんは、トッコの行動を中心にあらすじを表にまとめました。「中」①の部分は、本文中の「ア」の部分をもとめたものです。アの中には、どのような内容が入ると考えられますか。書き出しの言葉に続けて、二十字以内で書きましょう。ただし、書き出しの言葉は字数に入れません。

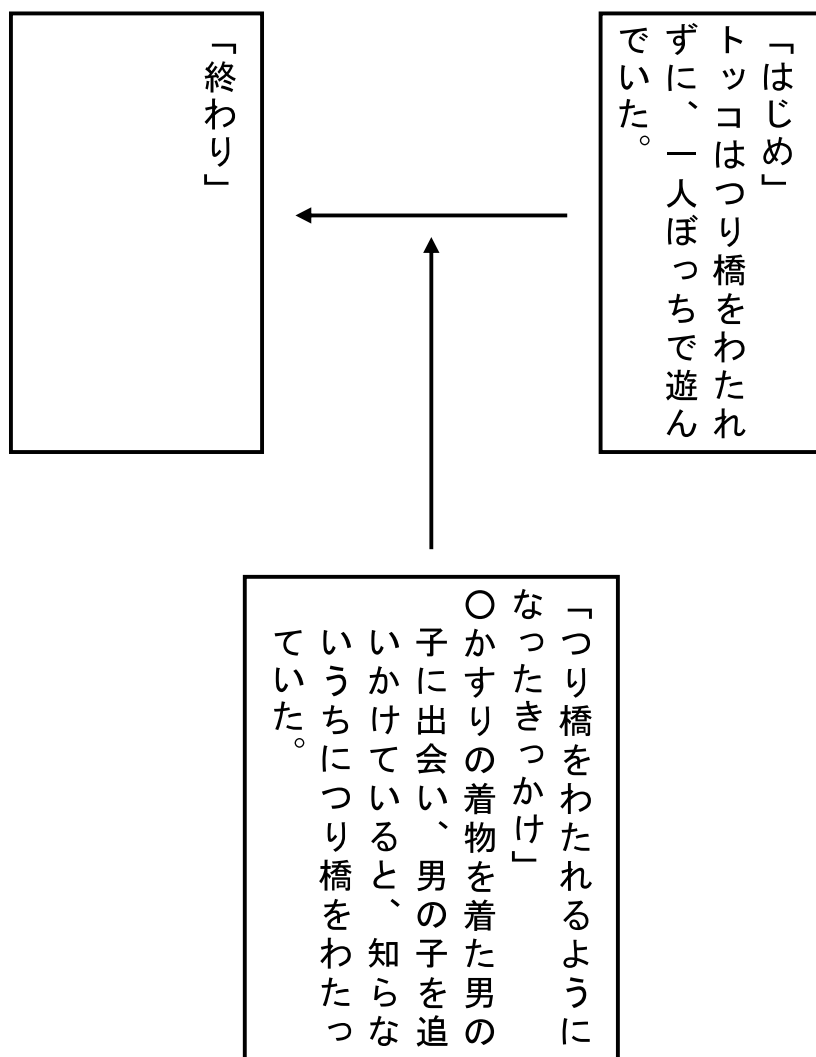
【あらすじをまとめた表】

はじめ	トッコは、村の子どもたちに「つり橋わたれ」と言われるが、よくゆれる上に、きしむつり橋を、わたることができなかつた。		
中	①	トッコは、山の子たちに弱みを見せたくないものだから、東京のじまんばかりしてしまい	ア
	②	何をやってもおもしろくなかったトッコだが、自分そっくりな声が返ってくる「山びこ」がおもしろくて、何度もよんでみた。	
	③	～省略～	
終わり	～省略～		



四 山本さんは、登場人物の変化について、次のような図にまとめています。「はじめ」からの変化がわかるように、「終わり」の部分に二十字以上、四十字以内で書きましよう。

【登場人物の変化をまとめた図】



田中さんは、「水を大切に使う」ことについて調べたことをほう告する文章の下書きを書いて、友達の山口さんに読んでもらいました。次は、田中さんが書いた下書きの一部です。これを読んであとの問いに答えましょう。

## 水を大切に使う！

人間が生きていくためには、水は必要<sup>1</sup>である。四年生の社会科で、水不足になりこまった県や市が、水を大切に使うために、いろいろなくふうをしたことを学んだ。<sup>2</sup>わたしたちの小学校でも、水を大切に使うための取り組みをしている。水を大切に使うための取り組みとして、水道のじゃ口をこまめにしめている。例えば、給食を食べた後、歯をみがく時には、じゃ口をこまめにしめるようにしている。

# A

四月にくらべると、学校の中でも、水を大切に使う人の数がふえてきたことが、上のAのグラフを見ても分かる。水を大切に使うことは、かぎりある水を使い続けるために大切なことである。<sup>3</sup>小さなことでも、こつこつ続けると大きなものになる。そのためにも、このような取り組みを、もっと学校の中で、<sup>4</sup>広めていきたいです。わたしの友達の小川さんは、手をあらう時もこまめにじゃ口をしめるようにしている。

「石けんをつけて手をあらう時は、必ず水を止めています。」

と話していた。

く下書きが続く

一 線部1必の書き順についての問題です。(例)のように「必」の↓で示している部分は**何画目**になるかを書きましよう。



二 田中さんは**A**の部分に、グラフをのせようと考えています。ここにのせるグラフとしてふさわしいものを、次の1から4までの中から**一つ**選んで、その番号を書きましよう。

- 1 花に水を毎日やった人の月別の数
- 2 じゃ口をこまめにしめた人の月別の数
- 3 手をあらった人の月別の数
- 4 歯をみがいた人の月別の数

三 友達の山口さんは文章を読んで、二文を一文にした方がよいところを見つけました(線部2)。次の**ア**と**イ**の二文を**五十字以内**(「、」「や」も**一字**として**数**えます。)の一文に**まとめ**ましよう。

- ア わたしたちの小学校でも、水を大切に使うための取り組みをしている。
- イ 水を大切に使うための取り組みとして、水道のじゃ口をこまめにしめている。

四 — 線部3のことをたとえたことわざとしてふさわしいものを次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 ねこに小判こばん
- 2 ちりも積もれば山となる
- 3 急がば回れ
- 4 かつぱの川流れ

五 田中さんは、下書きを読み直しました。すると、— 線部4は、他の文とくらべると、書き直したほうがよいことに気付きました。どのように書き直せばよいですか。七字で書きましょう。(答えは、かい答用紙に書きましよう。)


六 山口さんは田中さんの下書きを読んで、水を大切に使う他の方法を考えました。それは、そうじの時間にバケツに水をためてぞうきんをあらう方法です。これを全校のみんなによびかけたいと思います。そのよびかけの文章を、次の「へじょうけん」に合わせて書きましよう。

へじょうけん

- ・一文目は、「〇〇しましよう。」や「〇〇しませんか。」などのよびかける文とする。
- ・二文目には、「バケツに水をためてぞうきんをあらう方法」のよさを入れる。

これで、国語の問題は終わりです。